

# ★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>



150号  
2013年5月17日

常盤台の景観を守る会

常盤台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

## ○ じえ！じえ！じえ！

### まさかの駅前45m！

—最高限度高度地区指定—

5月13日(月)、板橋区都市計画審議会が久しぶりに開かれた。傍聴券に都市景観策定審議会となっていたおソマツはあったが。

注目の常盤台駅前の絶対高さの最高限度はなんと45mだった。NHKの朝ドラ「あまちゃん」の驚きの方言ではないが、まさにじえ！じえ！じえ！である。

ある審議委員が前回と流れが変わったようだと言っていたが、やっとまともな都市計画の流れになったのかと思っていたら、案の定、政権交代の影響なのか、またまた元の儲けさえすれば良い主義に戻ってしまった。

今現在の利益しか考えないで規制緩和を押し進めていけば、常盤台は、いや板橋区は元も子も失うと言うのに…

ある議員は、これは板橋区の政策としてすることなのではないか、現在の高さをはるかに越えた数値を設定すれば、街並みを良くしようという趣旨と矛盾し、高い計画にお墨付きを与える結果になる、と我々も当然に抱く危惧を述べていた。

ある議員は業者の意見を聞く機会をぜひ設けてほしいと言っていた。建築業界の便宜を図るためだ。要望などができると、住民側の意見が通り勝ちになるからだそうだ！通る前にこうしてつぶして来たに違いない。

都市整備部参事は常盤台駅前に規制をかけるには地区計画しかない、と例の逃げ口上を述べ、住民説明会やパブコメ募集など、いつものアリバイ作りに熱心であった。

板橋区民がこういう行政に何も期待しなくなり、不信感ばかりが渦巻くようになることを本当に反省してほしい。

## ○ ドイツ流まちづくり講演

—「居住空間と景観」—

5月25日(土) 午後2時～4時

於 ギャラリー服部

ドイツと日本で活躍中の建築家水島信さんが辻説法と称して、各地の市民のために講演をしています。

自由な発想が面白く、きっと参考になると思います。ぜひご参加ください。 無料

## ○ ロータリーの景観を考える

常盤台の顔でもある駅前のロータリーの景観が、①ライオンズクラブと書道美術館の広告塔の大きさや色、②照明灯のポールの色(黄色)が景観にそぐわないのではと考え、区に、取り外しや色の塗り替え等を打診してみました。

広告塔に関しては設置の経緯が不明な事、明確な理由(景観にそぐわないは明確な理由にならないとは…)が無い限り、看板設置者に撤去のお願いは出来ないと言われました。

照明灯に関しては塗り替えて5年しか経っていないので、塗装の剥がれやポール自体の腐食が無い限り、後15年位は予算の上からも塗り替えはしない、ただし、この照明灯は現在、節電の為に消灯しているが不都合が無いようなので将来的には撤去も考えられるとの回答がありました。

毎度のことですが、住民の申し出に対して区は何かと理由を付けて積極的に行動を起こす事が無いのは何故なのでしょう？予算が無い、人手が無い、他の地域とのバランスを考えなくてはとかの一点張りです。ならば無いなりにその事に対して住民と向き合っ一緒に方策を練るとか、何かをする時には事前に相談の打診があるとか、後手に回らない方法もあるのに、とってしまいます。

## 還付金はどうなったか

前号と前々号で、Oさんが板橋区の「確定申告の相談」について、告知が行き届いていないことに苦情を述べていました。

それと関連するかどうかわかりませんが、行政のサービス低下という意味では、二、三年前から推進されている「コンピュータ入力」も似たようなものではないかと思えます。

ご存知と思いますが、源泉徴収の還付や医療費の補助など、自己申告しないと有利にならないのが日本の制度です。

面倒な手続きですが申告して還付金を受け取ってきたのは、小額のお年寄りではないでしょうか。だとすれば、手続きが面倒くさくなり、一万や二万の小額なら、確定申告に行かずに諦めてしまう人が多くなったのではないのでしょうか。税務署はしきりに年金だけなら申告の必要はないと言っています。

コンピュータ入力導入の前後の還付金支払いの実態を知りたいものです。

## 常盤台の建築模型展示

二丁目のおもちゃ屋さんのFさんが、永年かけて作ったジオラマ、模型を展示するそうです。

常盤台で育ち、常盤台を愛するFさんは、懐かしく美しい景観として、駅舎やS邸などをせめて模型で残したいと思ったそうです。今年は古希を迎えたのを記念して「大恥展」と称して開く展示会、皆さんも見に行きませんか？

六月六日(木)～十一日(火)十時～十八時

於「ギャラリイ服部」

## 洗濯物の干し方

イタリヤや香港の下町のような洗濯物が風にはためく光景をよしとするか、致し方なしとするか、人様々と言ってしまうそれまでですが、少なくとも常盤台では見せない不文律があったと思います。分譲当時はどの家も敷地面積が大きかったので、庭に物干しをしても外から見えなかったという事情もあったかもしれませぬ。

何人かの熟年層に聞いたことですが、下着類を干す場合、異性のいる家庭は特に(それが父や兄弟であっても)なるべく目につかないよう、手拭いなどで覆って干すようにしつけられたそうです。たとえ室内であってもです。

そういうちよつとやかましくて不用に思われることでも、下着泥棒など多いのは事実なので、すから、用心するに越したことはありません。

駅前のマンションも、建設に当たっては、常盤台の顔に当たるのだから洗濯物や布団は絶対に目に付かないよう申し入れてあり、ちゃんとその約束は守られているようです。

## 常盤台はまだ「高級」住宅地

でしょうか？

「東京高級住宅地探訪」という本が去年の十一月晶文社から出版されています。常盤台も載っていますが、このまま行けば早晚「高級」とは言えなくなってしまうそうです。こういう本に紹介されている常盤台は、やはり分譲当時の面影を残す一戸建ての街なのです。共同住宅が増え、マンションがそり立つ光景は訪問者にとっても常盤台らしくないものなのでしょう。

## 常盤台公園のはなづくり

公園では毎年カラスがケヤキかスダジイの木に巣をかけ、二、三羽の雛を育てます。街中の生ゴミを主食とし、他の鳥の雛や卵を副食としているようです。ドバトなどは成鳥でも襲います。ネコや犬だって集団のカラスにはかえません。

そのカラスに餌をやっている人もいるのですが、いまやカラスは都会では生態系の頂点にいるのですから、カラスに餌付けする行為は、サバンナでライオンに餌を与えて増殖させているようなもので、異常に繁殖したカラスを更に輪をかけて保護するようなものではないでしょうか。

さて、公園の花はチューリップが終わり、バラが盛りです。今年はまだ柵のペンキ塗り直しの影響で手前に移植して間もないので、花つきはいまいちです。来年に期待してください。

次はユリ、アガパンサスと咲いてきますが、六月になると公園課からサルビアなどの花苗が届けられます。花壇のポランティア(花ボラというらしい)が各公園や緑地帯に生まれていたので、最近では減ってきている、という話を聞きました。どうしてでしょう。

公園ではありませんが、駅前の緑地帯に雑草が目立っています。来週の活動日にも数人で抜こうと予定していますが、お暇がありましたらご一緒にどうぞ。